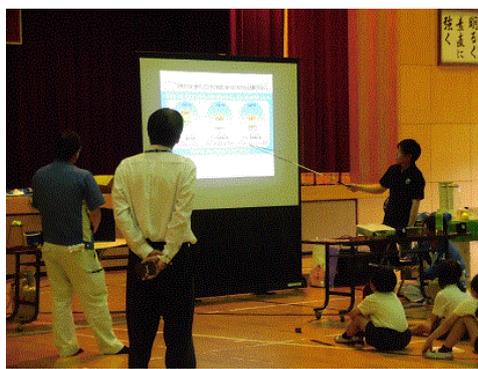


令和6年度 家庭教育学級の学習の足跡

第	テ ー マ	
3 回	4年「天然ガスおもしろ実験」(PTA4年学級活動との連携)	
講 師		参加者数
山口合同ガス株式会社 防府支店長 村上 弘太郎さん他6名		児童15名 大人15名



ほうふ幸せます指導者人材バンクより、山口合同ガス株式会社 防府支店 村上 弘太郎様はじめ4名をお招きして、「天然ガスおもしろ実験」を行いました。

4年生にとっては、「天然ガス」は学校ではまだ習っていない対象です。

そこで、天然ガスのいくつかの基礎的な内容の説明を受けました。

ガスタンクの形と大きさの違い、日本の天然ガスはオーストラリアやインドネシアから送られていること、児童たちの身近な建物としては、下関の水族館「海響館」の温水水槽に使用されている事などです。

続いて、ガスの炎にさまざまな材料を近づけてどのような燃え方をするのかを調べていきました。鉄粉は赤色、スポーツドリンク成分(カリウム)は桃色、十円玉成分(青銅)は緑色…、そしてこの性質を利用して花火の鮮やかな発色が行われていると聞き、児童たちから驚きの声が上がっていました。

ガスを冷やして液体化することにより容積を圧縮し運搬しやすくなることに関連してLNG温度に近い液体窒素にバラの花やバナナを接触させ、一瞬で氷結する様子を多くの児童が真剣に観察していました。

生活を支える天然ガスの基礎が学べ、有意義な学習となりました。